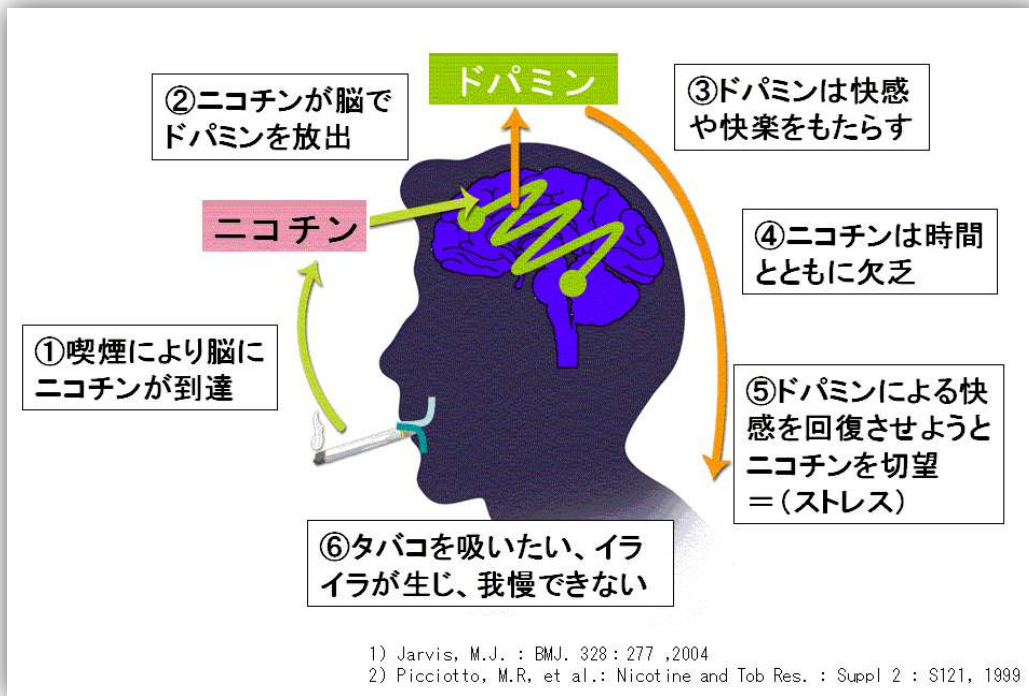


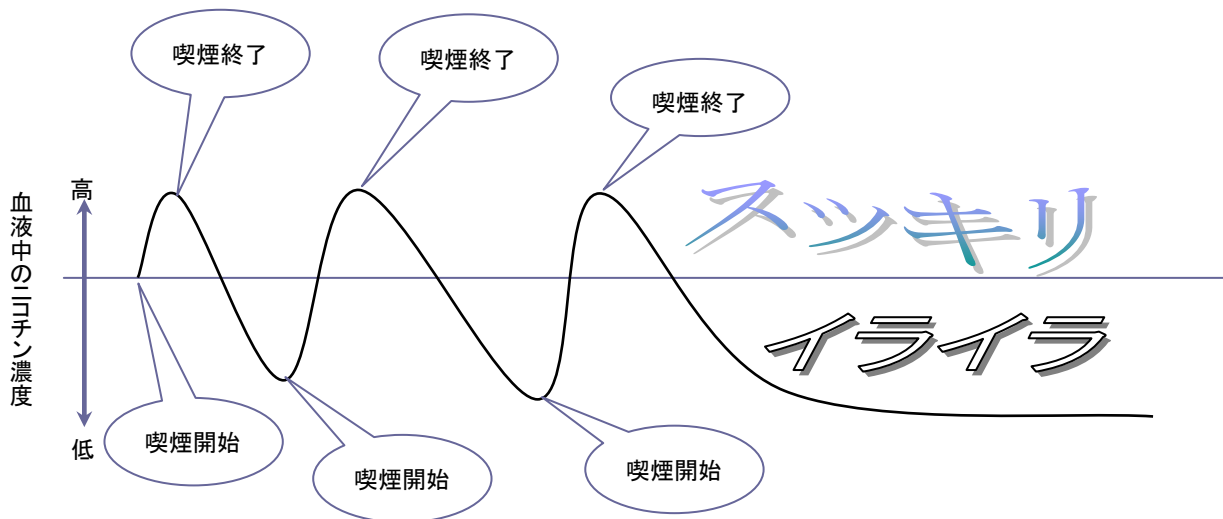
週刊 **タバコの正体**

タバコを吸い続ける人は、ニコチン依存症という病気にかかっています。一昔前は、タバコを吸う症状を病気と呼ぶ事に抵抗がありましたが、ニコチン依存症はお医者さんに治してもらおう時代になってきている現在では、タバコが我慢できないのは病気だから、という認識が一般的になっています。



タバコが我慢できなくなるのは、病名のとおり、脳がニコチンを欲しがるからなのです。

なぜ脳がニコチンを欲しがるかと言うと、ニコチンが人に快感をもたらすドパミンを脳内に放出させるからなのです。



一度、このサイクルにはまってしまうと、一生「タバコを吸ってスツキリ、ニコチンが切れてイライラ」という生活になるかもしれません。何十年も、ずーっとこんな事を続けるなんて想像するだけで気が重くなるよね。